令和5年7月4日　作成

　　　　令和5年度 第一回 大町町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日　時：令和5年6月21日（水）　14：00～15：10

場　所：大町町役場　２階　中会議室

参加者：九州運輸局佐賀運輸支局　　　　　首席運輸企画専門官 　牟田　嘉伊座（代理：武松）

 九州運輸局佐賀運輸支局　　　　　首席運輸企画専門官 古賀　陽一郎

　　　　佐賀県さが創生推進課　　　　　　副課長　　　　　　 江口　里司

一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会　 専務理事　　　　 草野　武生（代理：平井）

　　　　祐徳自動車株式会社　　　　　　　　乗合バス部長　　 山口　守

　　　　有限会社大町観光タクシー　　　　　代表取締役　　　 山口　輝二郎

　　　　白石警察署　　　　　　　　　　　　交通課長　　　　 堤　祐二（欠席）

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　副町長　　　　　 内田　学

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　福祉課長　　　　 宮﨑　貴浩

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　教育委員会事務局長　井手　勝也

　　　　九州地方整備局佐賀国道事務所　　　計画課長　　　 　 藤本　知法

 佐賀県杵藤土木事務所　　　　　　　管理第二係長　　　馬場　智生

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　農林建設課長　　　髙田　匡樹

　　　　大町町区長会　　　　　　　　　　　代表　　　　　　　江頭　賢治

　　　　大町町老友会クラブ連合　　　　　　会長　　　　　　　堅固　勲

　　　　大町町婦人会　　　　　　　　　　　会長　　　　　　　武村　妃呂子

　　　　大町町民生委員会　　　　　　　　　会長　　　　　　　武村　宣子（欠席）

　　　　大町町ひじり学園PTA　　　　　　　代表　　　　　　 角田　隆

　　　　大町町商工会　　　　　　　　　　　会長　　　　　　 藤瀬　正男

　　　　大町町議会　　　　　　　　　　　　議員　　　　　　 江口　正勝

　　　　大町町議会　　　　　　　　　　　　議員　　　　　　　山下　淳也

　　【随行者】

　　　　佐賀県さが創生推進課　　　　　　　　　　　　　　　　木村　瑠々花

　　【事務局】

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　企画政策課課長　　　藤瀬　善徳

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　企画政策課副課長　　大島　与志行

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　企画政策課主査　　　中島　隆貴

　　　　大町町　　　　　　　　　　　　　　企画政策課主査　　　古賀　陽平

【オブザーバ】

　　　　西日本総合コンサルタント株式会社　　　　地域公共交通担当部長　 古賀　照久

　　　　西日本総合コンサルタント株式会社　　　　係長　　　　　　　　　 庄司　耕

内　容：

１　開会（中島主査）

　本日は委員21名中19名出席で委員会成立　（欠席：堤委員、武村宜子委員）

２　挨拶（内田副町長）

　町内を横断する国道34号は1日2万台の車が往来していると言われる重要な道路である。町の高齢化率は県内トップクラスであり、移動の足を確保して元気に過ごしていただきたい。それが町の活性化につながるため、地域公共交通は町にとって重要である。この会議でご意見をいただきながら見直しを行い、活性化につなげていきたい。

３　委員紹介（中島主査）

　委員名簿で委員紹介

４　大町町地域公共交通会議について(中島主査)

　資料説明

５　役員の選任について（中島主査）

（１）副会長の選任について

　　　江頭区長会代表

（２）監査委員の選任について

　　　山下議員　武村民生委員会会長

６　議事

　・司会：内田会長

　・議事録署名人:大町観光タクシー　山口代表取締役

■第１号議案

　　令和4年度大町町地域公共交通会議事業報告（案）及び

　　令和4年度大町町地域公共交通会議収支決算（案）承認について

　　（中島主査）

　　　　資料説明

　　（内田副町長）

　　　　監査報告をお願いしたい。監査委員は山下委員、武村委員になって頂いているが、

代表して山下委員お願いします。

　　（山下委員）

　　　　監査報告：適正である

　　（内田副町長）

　　　　令和4年度の繰越金532,120円は、トライアルの出入口工事関係費用として挙げ

ていたものが、現在実施されていないために繰越金となっている。新たに設ける出

入口に合わせて運行ルート・ダイヤ等を変更するための予算である。

　　（内田副町長）

　　この議案を承認される方は挙手をお願いしたい　→　挙手　→原案通り承認された

■第2号議案

　　地域公共交通計画認定申請（案）の協議・承認について

　　（中島主査）

　　　　資料説明

　　　　　・事業の目標は地域公共交通計画と整合性を取っている

　　（内田副町長）

　　　　毎年この様式で国に申請している。今年度に行った協議会の開催状況や議論な

ど一部追加している。

（内田副町長）

今年度もこの形で進めていきたい。

承認される方は挙手をお願いしたい　→　挙手　→　承認いただいた

７　協議事項

　　令和4年度大町町地域公共交通計画の効果検証について

　　（大島副課長）

　　　　資料説明（大町町地域公共交通計画の評価・検証）

　　（江頭委員・副会長）

　　　　佐賀県が1月～2月にかけてバスのフリーデーを実施したが、まちバスの実績はど

うだったのか。

　　（大島副課長）

　　　　東西ルートは水曜日、南北ルートは木曜日をフリーデーに設定した。フリーデーを

実施した令和5年1月・2月と前年の令和4年1月・2月を比較したが、令和5年1

月の利用者数は313人（フリーデイ利用者141人）、令和4年1月は277人で36人

増。令和5年2月の利用者数は331人（フリーデイ利用者149人）、令和4年2月は

331人となっている。令和5年2月まででフリーデーは終了しているが、令和5年3

月の利用者数は399人、令和4年3月は346人で前年より53人増加していることか

らフリーデーが呼び水となって利用者が増加したと考えている。

　　（内田副町長）

　　　　何か意見はないか　→　意見なし

８　報告事項

（１）コミュニティバス（まちバス）の利用状況報告について

　　（中島主査）

　　　　資料説明（まちバス利用状況）

　　　　　　・南北ルートの利用頻度を上げていきたい

（２）「佐賀県くらしを支える移動手段支援事業奨励金」の活用及び取り込み内容について

　　（大島副課長）

　　　　資料説明（佐賀県くらしを支える移動手段支援事業奨励金について）

　　　　　　・見込みとして40万円程度と考えている。

　　（江口委員）

　　　　　運行費補助が目的ではなく、利用促進が目的である。大町町にはその主旨に賛同して頂いているので応援していきたい。

ところで、国の方にお聞きしたいのだが、大町町独自のフリーデーは運賃を取らない形になるので、フリーデー利用者をフィーダー補助の人数にカウントできないのではないか。佐賀県のフリーデーの場合は運賃相当額を佐賀県が補填していたため、フィーダーの人数にカウントしてよいということであった。

　　（武末委員）

　　　　大町町のフリーデーは、大町町で運賃を補填されるのであれば問題ない。

　　（内田副町長）

　　　　ほかに意見はないか　→　意見なし

　　　　本日の議事はこれで終了する

９　閉会（中島主査）

　　　新しい委員の方で分からないことがあれば企画政策課にお尋ね頂きたい。

　　　以上をもって会議を終了する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上